

令和7年1月16日
農林水産部農業技術課（担当：瀬尾）
直通：029-301-3867
茨城県農業総合センター園芸研究所（担当：寺門）
直通：0299-45-8340
総務部人事課（担当：松野、川津）
直通：029-301-2263

令和6年度茨城県職員採用選考案内（任期付研究員の募集）について

本日、「令和6年度茨城県職員採用選考（任期付研究員の募集）」について、人事課ホームページにおいて選考案内を公表いたしましたのでお知らせします。

記

1 採用選考日及び申込受付期間

- 選考日 令和7年2月13日（木）
- 申込受付期間 令和7年1月16日（木）から令和7年2月5日（水）まで

※ 選考案内は、茨城県総務部人事課ホームページに掲載しております。
<https://www.pref.ibaraki.jp/somu/jinji/kikaku/saiyo.html>

2 募集人員、業務内容

- 募集人員 1名
- 業務内容 ピーマン圃場における黄化えそ病のウイルスおよびアザミウマ類の動態解明ならびにアザミウマ類の共生細菌等を利用した新規防除法の探索

※ 詳細は別紙「令和6年度茨城県職員採用選考案内（任期付研究員の募集）」のとおり。

令和6年度

茨城県職員採用選考案内（任期付研究員の募集）

※茨城県のホームページでもご覧になれます。

<https://www.pref.ibaraki.jp/somu/jinji/kikaku/saiyo.html>

◆ **受付期間：令和7年1月16日（木）から令和7年2月5日（水）まで**

◇ 郵送による申込の場合は、令和7年2月5日（水）必着です。

◇ 持参による申込の場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時15分までです。
（ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日は取り扱いません。）

1 採用予定人員等

採用を予定している分野、人員、職務内容及び勤務場所

募集分野	採用予定人員	職務内容	勤務場所
農学等	1名	ピーマン圃場における黄化えそ病のウイルスおよびアザミウマ類の動態解明ならびにアザミウマ類の共生細菌等を利用した新規防除法の探索 → <u>研究課題参照</u>	茨城県農業総合センター 園芸研究所 (笠間市安居)

2 任期

令和7年4月1日（採用予定日）から令和11年3月31日まで（4年間）

3 受験資格

(1) 上記1の「職務内容」に記載した研究分野に関し、大学院博士課程を修了した人及び修了見込みの人並びにこれに相当すると認められる人

※ 「これに相当すると認められる人」とは、採用予定日において、「職務内容」に記載した研究分野に関する修士の学位を取得後、同分野に関連した研究を業務として3年以上経験している人、又は「職務内容」に記載した研究分野に関する修士の学位を取得後、大学院博士課程に3年以上在籍し、同分野において顕著な研究業績を有する人、又は大学卒業後「職務内容」に記載した研究分野に関連した研究を業務として5年以上経験している人等をいいます。

(2) 上記(1)の資格に該当する人であっても、次の各号のいずれかに該当する場合は受験できません。

ア 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人

イ 茨城県において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人

ウ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

エ 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている人（心神耗弱を原因とするもの以外）

オ かつて茨城県において、地方公共団体の一般職の任期付研究員の採用等に関する法律第3条第1項第2号の規定により、任期を定めて採用されたことがある人

4 選考日時及び選考場所

- (1) 日時 令和7年2月13日(木) 13時30分から
- (2) 場所 茨城県農業総合センター(笠間市安居3165-1)

5 選考方法

選考の種類	内 容
書類審査	提出された研究業績等に基づき、研究業務における適性、研究能力などについて審査します。
専門考査	「職務内容」に記載した研究業務に関する研究計画等について、質疑方式により行います。
口述考査	主として人物についての評定を行うものとし、個別面接を行います。

6 合格者の発表

- (1) 時期：令和7年2月下旬頃
- (2) 方法：受験者全員に、文書(郵送)で合否をお知らせします。

7 給与等

(1) 給与

給与は、一般職の任期付研究員の採用等に関する条例・規則に基づき、月額366,760円(地域手当6.0%を含む)が支給されます(条例改正や個人の経歴等により、上記の額が変更されることがあります)。

なお、任用期間を通じて、採用時に決定された号給が適用されます。

また、上記のほか、条例に基づき、通勤手当、時間外勤務手当、期末手当、退職手当などが支給されます。

(2) 服務

任用期間中は、地方公務員として、地方公務員法の服務に関する規定が適用になります。

(3) 勤務時間

原則として、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで(正午から午後1時までは休憩時間)で、週38時間45分勤務となります。

(4) 休暇

年次有給休暇は、1年につき20日(採用時期に応じ最大年間20日(4月採用の場合は採用年のみ年間15日))で、年休の未使用日数は20日を限度に翌年に繰り越すことができます(年間最大40日)。また、特別休暇(夏季、結婚、忌引等)等があります。

(5) 年金・健康保険

任用期間中は、地方公務員として、地方職員共済組合に加入することになります。

8 応募手続

(1) 申込方法

申込先に、必要な書類を郵送又は持参により提出してください。

<申込先> 〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6

茨城県農林水産部農業技術課 管理担当

TEL 029-301-3867

※ 郵送により申し込む場合は、封筒の表に「選考申込」と朱書きし、必ず「簡易書留」の手続きをとってください。

(2) 受付期間

令和7年1月16日(木)から令和7年2月5日(水)まで

- ・ 郵送による申込の場合は、令和7年2月5日(水)必着です。
- ・ 持参による申込の場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時15分までです。
(ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日は取り扱いません。)

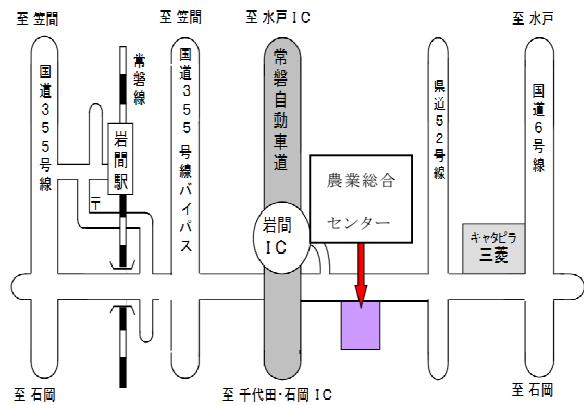
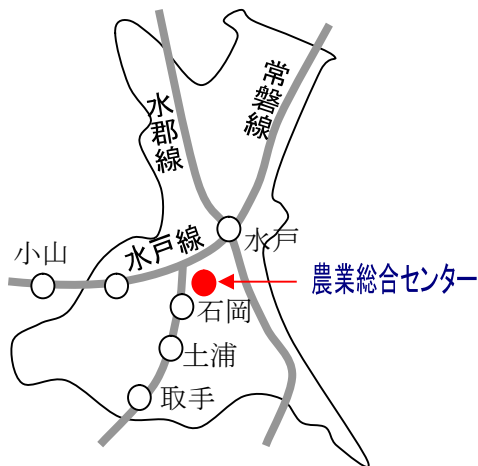
(3) 提出書類(県HPからダウンロードできます。)

- ア 任期付研究員選考申込書(指定様式第1号)
- イ 履歴書(指定様式第2号)
- ウ 研究業績一覧(指定様式第3号)
- エ 研究テーマに関する抱負(指定様式第4号)
- オ 最終学歴にかかる修了(卒業)証明書及び成績証明書(在学中の者にあつては、修了見込証明書)

9 その他

受験票は発行しません。選考当日は直接会場にお越しください。

10 案内図



交通

常磐線岩間駅よりタクシー10分
 常磐自動車道 岩間IC出口約300m

11 この採用案内についてのお問い合わせ

区分	問い合わせ先
申込・業務内容等に関する事	<p><申込み> 茨城県農林水産部農業技術課 管理担当 TEL 029-301-3867 (担当: 瀬尾、沖)</p> <p><業務内容> 茨城県農業総合センター 園芸研究所 TEL 0299-45-8340 (担当: 寺門)</p>
任期付研究員の採用制度に関する事	茨城県総務部人事課 企画・人材育成担当 TEL 029-301-2263 (担当: 川津)

【研究課題】

ピーマンに感染するオルトスポウイルス種の早期診断技術及び媒介昆虫アザミウマ類の防除対策技術の開発（ピーマン圃場における黄化えそ病のウイルスおよびアザミウマ類の動態解明ならびにアザミウマ類の共生細菌等を利用した新規防除法の探索）

【現況・課題】

本県はピーマンの生産量・生産額が全国第1位であるが、産地では、アザミウマ類が媒介するオルトスポウイルス属の一種であるトマト黄化えそウイルス (TSWV) によって引き起こされる黄化えそ病が多発生して問題となっている。また、その他のオルトスポウイルス (CaCV、CSNV、TZSV) による病害も発生している。

ピーマンに発生するアザミウマ類では高度に薬剤抵抗性が発達しており、農薬による防除が困難である。そのため、アザミウマ類の発生が激甚化し、黄化えそ病の多発生が散見されていることから、産地全体への拡大防止のため対策が急務である。

昆虫媒介性ウイルス病の発生や被害の拡大防止には、発生初期の発病株の抜き取りと媒介虫の防除を行う必要がある。また、同時に病害が発生しにくい環境を整えることも重要である。

そこで、本研究では、産地における黄化えそ病の多発生要因を解明し、今後の感染拡大防止技術の開発に資するため、ウイルスやアザミウマ類の動態や生態的特徴等に関する基礎的データの収集や防除法の探索を行う。

【研究内容】

ピーマンにおける黄化えそ病の発生程度は同一産地内でも大きく異なるが、その要因は不明である。そこで、本研究では、産地における黄化えそ病の多発生要因を解明し、今後の感染拡大防止技術の開発に資するため、ピーマン圃場におけるウイルスおよびアザミウマ類の動態を解明するとともに、アザミウマ類の共生細菌等を利用した新規防除法の探索を行う。研究項目は以下のとおり。

- (1) 現地圃場における媒介虫アザミウマ類の圃場内への侵入経路・時期、圃場内外での発生消長や生息場所等の把握 (R7~10)
- (2) 圃場内での黄化えそ病の発生推移とアザミウマ類のTSWV保毒虫率との関係性の解明 (R7~10)
- (3) アザミウマ類の種や性比、共生細菌の有無 (ボルバキア等) とウイルス媒介、薬剤感受性との関係性等の解明 (R7~10)

【期待する効果】

- ・オルトスポウイルスが引き起こす病害の多発生要因が科学的に解明されることにより、効果的・効率的な防除対策の実施が推進され、ピーマンの生産安定が図られることにより、生産農家の経営安定・収益性向上に寄与できる。
- ・ウイルス病防除に向けた基礎的データの収集が図られ、今後の新しいウイルス病感染拡大防止技術の開発に寄与できる。

【募集分野】

農学、応用昆虫学、昆虫病理学、植物病理学等

※問合せ先

茨城県農業総合センター園芸研究所 研究調整監 寺門 巖
病虫研究室長 杉山 恵乃
電話：0299-45-8340